

## 第一章 開園記念イベント開催までの経緯

### 1. 国営讃岐まんのう公園開園の経緯

#### a. 国営讃岐まんのう公園全体計画のあらまし

「国営讃岐まんのう公園」は、四国地方の広域的レクリエーション需要に対応す国営公園として、全国16カ所の国営公園のうち、12番目の公園として昭和59年度に事業着手したもので、平成10年4月18日に全体計画区域約350haのうち中央広場ゾーンを中心とする約80haの区域を初めて部分開園した公園である。

#### (1) 位置

香川県仲多度郡満濃町（高松市の南西約25km(車で約50分)、坂出市の南約15km(車で約25分)、琴平町の南東約7km(車で約15分)）

#### (2) 区域

地元の生んだ偉人弘法大師・空海(空海は満濃町のとなり善通寺市で生誕)による築造で、また農業用ため池としては日本一の規模を有することで有名な「満濃池」北東岸の一体の丘陵地。

標高約150mから277m、面積約350haの丘陵地の区域で、中央部の旧「竜頭」集落跡地をアカマツを主体とした樹林が取り囲む。

#### (3) 事業の経緯

昭和59年度 事業着手

60. 9. 12. 基本計画策定

61. 8. 29. 都市計画決定(約350ha)

63. 10. 12. 一部の案件を除いて全体区域の補償額がほぼ妥結、地権者会解散

平成元 10. 20. 本体工事着手

10. 4. 18. 一部(約80ha)開園

#### (4) 公園の基本テーマ

「人間との語り、自然・宇宙とのふれあい」

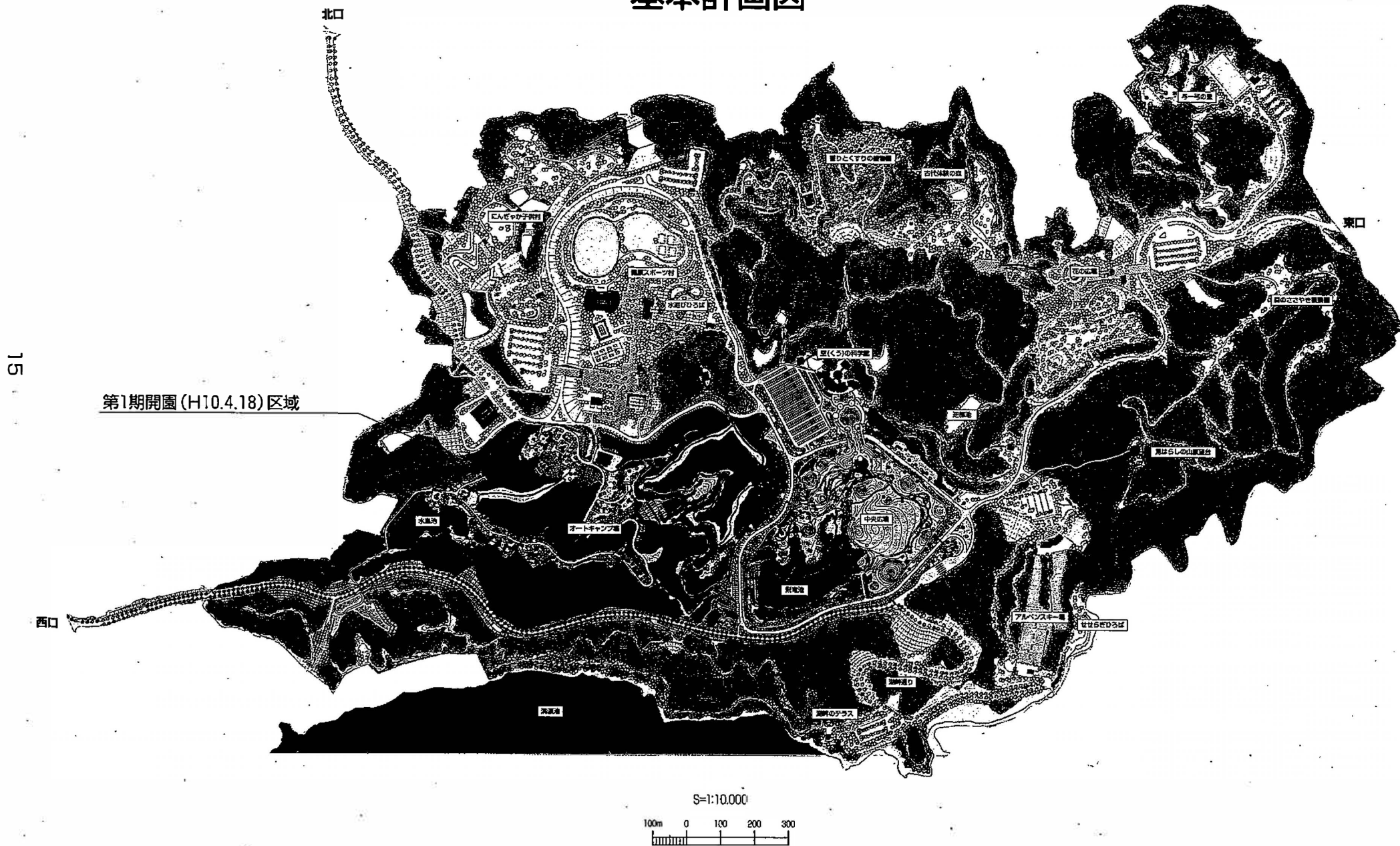
(テーマは、計画地が空海とゆかりの深い「満濃池」に隣接する自然豊かな丘陵地であることから、その土地が持つ風土を活かし、めまぐるしく変化する社会の中でもすれば見失われがちな「人間の生存基盤との直接的交流」を育むことを目指して設定)

#### (5) ゾーン構成

上記基本テーマを具現化すべく、「中央広場ゾーン」「宿泊ゾーン」「環境保全ゾーン」「湖畔ゾーン」「文化ゾーン」「自然活用ゾーン」「スポーツゾーン」の7つのゾーンで公園全体を構成

# 国営讃岐まんのう公園

## 基本計画図





## b. 第一期開園の概要

このうち、第一期開園区域約80haが以下のように開園することとなった。

1. 期日 平成10年4月18日(土)
- 10:30～：開園記念式典
  - 正午：一般入場開始
  - 12:15頃：開園記念イベントオープニング

(参考)

開園日前後の状況

平成10年4月5日(日)	明石海峡大橋開通
4月10日(金)	瀬戸大橋開通10周年
4月23日(木)～	緑の週間

### 2. 区域・面積

丘陵地中央部の旧「竜頭」集落跡地を中心とした「中央広場ゾーン」、「宿泊ゾーン」、および「環境保全ゾーン」の一部からなる80haの区域。

### 3. 第一期開園区域でのねらい

第一期開園時には、基本テーマのうち特に「人間と自然とのふれあい」を来園者に実体験してもらうことをねらいとして施設を展開することし、

- ・まず、第一ステップとして自然を身近に感じてもらう中央広場ゾーン(「竜頭の里」と

称す)

- ・次に、第二ステップとして自然の恵みを体験する環境保全ゾーン(「竜頭の森」と称す)

- ・第三ステップとして自然に囲まれて実際に生活をする宿泊ゾーン(「オートキャンプ場」を整備)

として各ゾーンを位置づけ、スリーステップで「アウトドアの達人」になってもらうべくその位置づけにしたがって施設を配置し運営していく。